

# 公益財団法人黒部市国際文化センター 令和元年度 運営方針

公益財団法人黒部市国際文化センターは指定管理者として、黒部市国際文化センター「コラーレ」、黒部市美術館「美術館」という市内二つの文化施設を拠点に地域の文化及び芸術の振興、国際相互理解の推進を図り、市民を中心として市外及び県外からの多くの人々に出会いと感動の場を創出します。

特に、子供から高齢者、障がい者、失業者、在留外国人等、あらゆる人々を対象とし、教育、福祉、観光、産業等様々な分野と連携しながら、劇場や美術館が持つ機能や人材を生かして優れた芸術が鑑賞でき、あらゆる芸術文化活動や国際交流活動に気軽に参加できる機会やそれらを少しでも容易にするための環境整備をさらに一つひとつ実現させます。

「コラーレ」の自主事業については、運営委員会や実行委員会を軸に「市民の意志（企画）と手（ボランティア）による企画・運営」という市民参画の基本姿勢を維持しつつ、市民ニーズに合致し、親しまれる企画や運営の展開に努めます。今年度からは、より市民に開かれた公立文化施設を目指して、市民からの企画を公募し、運営委員会で検討することも始めます。「美術館」についても、同様の目的を目指して、どのようなアプローチがあるか鋭意検討を重ねていきます。

また、コラーレのカーターホール命名の由来にあるとおり、ジミー・カーター氏が切望し、世界の人々が希求する世界平和の実現に向けて、文化及び芸術や国際交流活動が果たす役割を深く認識し、常に世界に目を向け積極的に国際相互理解の推進を心掛けます。

そして、利用者が安心して安全に利用できる施設運営を最優先し、一人でも多くの子供たちや市民が心豊かに安心して成長し生活できる黒部市、一人でも多くの市民が黒部市民としての誇りを持てる黒部市の実現に向けて「コラーレ」「美術館」はそれぞれの公益目的事業を通して一步一步着実に前進する所存です。

基本方針 = 市民参画による企画・運営